

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

| | |
|--------------|--|
| 1 団体名 | セフティ・ザ・平洲パトロール隊 |
| 2 事業名 | 地域自主防犯活動活発化促進事業 |
| 3 事業実施 結果 | <p>1. パトロール体制の強化等</p> <p>青色回転灯装備車による定期パトロール時に、今回、購入したスピーカーセット等を利用して、音声街頭活動啓発を、スケジュールどおり実施した。</p> <p>活動としては、月2回の実施となったが、定期的にパトロールができ、パトロール隊員が地域住民に対して、マイクによる声掛け、啓発用音源による地域巡回等を行うことで、啓発活動意欲等の活性化が図られた。</p> <p>また、地域住民は、家の中にも音声聞こえるため、活動の実施状況がより明確になり、見守り活動による安心感が培われたと思われる。</p> <p>令和4年11月末現在の犯罪発生状況について、平洲コミュニティ区域の刑法犯発生状況は、ワーストワンであり、名古屋鉄道駅、道路事情、大型ショッピングセンター等の立地条件によるものと思われるが、啓発活動を活発化することにより、少しでも地域住民の安心・安全なまちづくりに役立つものと考えている。</p> <p>近年、コロナ化による不景気のためか、侵入盗等が増えているが、地道な活動により、犯罪発生抑制につながっていくと考えている。 (用意した反射材タスキ500本、ホイッスル付トーチ400個全部配布した)</p> <p>2. 平洲コミュニティ40周年事業における啓発活動の実施</p> <p>平洲コミュニティ40周年事業において、セフティ・ザ・平洲のブースをもうけ、啓発物品等と一緒に、防犯チラシを配り、地域住民の防犯意識高揚を図った。</p> <p>今回の啓発物品として、キャラクター入りの反射材付タスキやライトを配り、外出する場合の交通事故に対する自分の身の安全確保、地域を散歩することで、地域見守り活動としての参加等による自分の地域は、「自分で守る」防犯意識の向上が図られたと思われる。</p> <p>また、この周年事業のブースに参加することで、セフティ・ザ・平洲が、地域に根付いた活動をしていることのPR、知名度のアップ、地域住民との会話等により、団員の活動意欲の高揚が図られた。</p> <p>(活動写真 別添添付)</p> |

4 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

・パトロール体制の強化等

効果としては、東海市内の刑法犯犯罪発生件数が減少傾向にある中、セフティ・ザ・平洲が活動している平洲コミュニティの犯罪発生件数は、増加しているため、この事業により効果があったとはいづらい。

しかし、犯罪の抑止も一夜にして行うことはできず、根気よく啓発活動を行うことが、必要と考える。

今回の事業で、地域住民が、改めてセフティ・ザ・平洲の活動に感謝の意を表してもらったことで、団員のモチベーションも上がった。

課題としては、地域コミュニティと協力して行っており、各地域で車両を準備してもらうため、毎年役員の交代により、車両の青色回転灯の新規・取り消し、普通車と軽自動車では、運輸局の申請場所の違いなど、苦勞している。

団員の参加者の減少にともない、個人負担の増もあり、なかなか人をそろえるにも苦勞している。

(2) 今後の取組み

青色回転灯装備車による巡回の継続、音声街頭啓発活動により、地域とのつながり、犯罪者が入り難い状況となるよう、平洲コミュニティと協力、連携しながら活動を活発化にしていきたい。

<参考画像>

①青色回転灯車両整備費 スピーカー ハンドマイク等



②平洲コミュニティ 40周年事業における啓発事業の実施
(令和4年11月20日、平洲小学校にて)

